



令和 8年 4月16日  
自動車交通部

## スノーシーズンにおけるインバウンド対応の 取組について

北陸信越運輸局管内には、国内有数のスノーリゾートが存在し、訪日客を含む多くの観光客が訪れています。一方、冬期間に需要が集中することから、タクシー等の供給量が需要に追い付いていない状況となっています。

このため、今冬においては、とくに旺盛なインバウンド需要が見込まれた、長野県白馬村及び新潟県妙高市でタクシーの供給力確保するため取り組んだところです。その概要をお知らせします。

○ 長野県白馬村では、旺盛なインバウンド需要により冬期間におけるタクシー車両がひっ迫。スキー場施設が駅や宿泊施設の集積地から離れており、2次交通の整備が常に課題となっています。

今冬は、周辺地域からの乗務員や車両の派遣や、タクシー特措法による「準特定地域」にかかる制限の弾力的な運用、日本版ライドシェアの活用などに取り組みました。

⇒【長野県白馬村】スノーシーズンにおけるインバウンド対応の取組について

○ 新潟県妙高市では、インバウンド需要が増加、もともと台数が少なく供給力確保に懸念があったことや、駅がスキー場施設、宿泊施設の集積地から離れており、2次交通の整備が課題でした。

今冬は、タクシー事業にかかる営業区域を臨時的に統合して、妙高市内全域から配車できる応援体制を確保したことや配車アプリ、日本版ライドシェアの活用に取り組みました。

⇒【新潟県妙高市】スノーシーズンにおけるインバウンド対応の取組について

○ 北陸信越運輸局では、引き続き、「地域の足」「観光の足」の確保に向けて取り組んでまいります。

【お問合せ先】

自動車交通部 新田

TEL 025-285-9152



# 【新潟県妙高市】スノーシーズンにおけるインバウンド対応の取組について

- **新潟県妙高市(妙高高原)** では、インバウンド需要が増加、もともとタクシー台数が少なく**供給力確保に懸念**
- 駅がスキー場施設や宿泊施設の集積地から離れ、**2次交通の整備が課題**

## 妙高市におけるタクシー不足対策

### ① タクシー営業区域の臨時的統合

- ・市内の2つの営業区域を期間限定で統合、乗務員・車両を市内全域からの応援態勢を確保
- ・期間 1/1(木)～3/5(木)
- ・事業者数・車両数  

2024-25シーズン	2025-26シーズン
1社6台	3社21台

### ② 配車アプリの導入

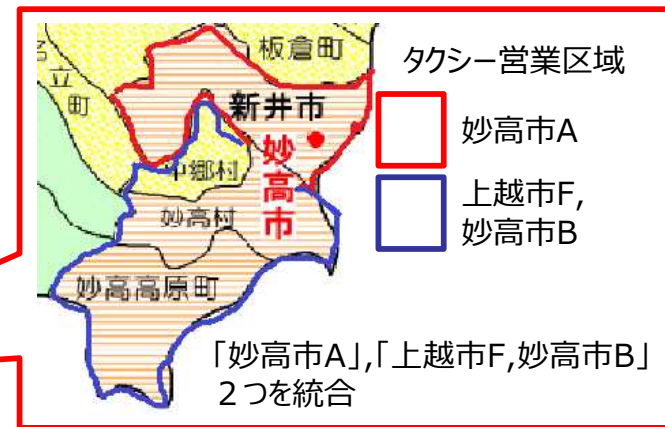
- ・タクシー配車アプリ「Uber」の導入による配車効率の向上、業務効率化（3社15台が参画（妙高市が支援））

### ③ 日本版ライドシェアの活用

- |   |  |  |   |
|---|--|--|---|
| <ul style="list-style-type: none"> <li>・運行期間<br/>12/23(金)～3/31(火)</li> <li>・事業者数・車両数<br/>1社・2台</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・導入経緯<br/>妙高市からの申出</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・運行エリア<br/>妙高高原エリア</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・時間帯<br/>毎日 8:00-13:00, 15:00-23:00</li> </ul> |
|---|--|--|---|



(地図：国土地理院HP)



## 妙高市の反応

- 営業区域統合は恒久的な措置を望む  
⇒(運輸局) 恒久措置に向けた作業を開始

## タクシー事業者の反応

- 乗務員欠員と大雪影響で供給不足
- 営業区域統合は恒久的な措置を望む
- 豪雪地にあった車両(4駆車)の配置が課題